

船橋会事務所

〒156-0055 世田谷区船橋1-40-6

会長 妹尾 廣子

Tel/fax 03-6794-3145

編集 平野 千晶

船橋会ホームページ

<http://www.funabashikai.com>

第7回 ちとふな盆踊り



9~11月の予定

9月21~30日秋の全国交通安全運動
千歳船橋駅前広場

9月23~24日船橋神明神社例大祭
船橋神明神社

9月 敬老事業

10月1~31日赤い羽根共同募金
船橋会全域

10月5日(木) 定例常会
船橋地区会館

10月14日(土) 古着古布回収フリマ
船橋神明神社・船橋地区会館・千歳船橋駅前広場

10月19日(木) 防犯パトロール
船橋会全域

10月22日(日) 防災運動会
船橋小学校

11月3日(金・祝) 船橋ふれあいまつり
希望丘公園

11月5日(日) 定例常会
船橋まちづくりセンター

平成29年8月20日(日)千歳船橋駅前広場には沢山の人の姿がありました。第7回を迎えた「ちとふな盆踊り」はすっかり船橋の街の行事として皆さんに浸透したようです。

3日前の8月17日(木)朝から駅前広場では櫓の組み立て作業が行われています。例年、山崎工務店さん(北沢法人会)が櫓を、電気工事を横川電機商会さん(ちとふな商店街)が担当します。また今年は提灯の柱は太田工業さん(睦会)が建ててくれました。地域のおまつりならではの。

その日は夕方になると提灯の取付けに人が集まってきました。船橋体操サークルの皆さんです。他にも船橋体操クラブ、日赤、駅広運営準備会などの団体も参加。毎年恒例となったこの作業は昨年からは若い力を借りることで作業効率がアップしました。今年は船橋希望中学校JRCボランティア部と卓球部の生徒さん23名が力を発揮してくれました。夜になると提灯に灯りがとまり、盆踊りのムードが高まりました。

また前日19日(土)は広場を掃除しようと船橋体操の会と船橋希望中PTAの保護者の方が集まってきましたが、予想外の豪雨に高架下の清掃にとどまりました。

8月20日(日)18時、千歳船橋駅前広場には「ちとふな盆踊り」スタートの合図の太鼓が鳴り響きました。オープニングは世田谷区立船橋小学校4年生有志による南中ソーランです。自作の法被に身を包んだ子どもたちが所狭しと踊ります。その雄姿を一目見ようと人垣ができました。2回目は小さなお子さんたちも、お兄さん、お姉さんの踊りを見様見真似しながら一緒に踊りました。



太鼓は音響担当の石田さん



船橋会の妹尾会長と
世田谷区砧総合支所長の寺林様



頑張った子どもたちには中学生から
ささやかなプレゼントが渡されました

その後、待ち構えたように人の輪ができ、盆踊りのスタートです。音楽に合わせて、鼓友会の皆さんがお囃子を務めます。小さなお子さんから大人まで浴衣姿の方もいれば、駅からそのままふらりと立ち寄って参加される方も。皆さん思い思いに楽しんでいる様子。盆踊りは大いに盛り上がり、皆さん、20時半の終了時間ギリギリまで踊り続けました。



お囃子は鼓友会さん
幼児から大人まで！



思い思いに楽しんでいます



盆踊りの輪の外で太鼓の体験中



司会は船橋会役員
鈴木さんと飯田さん



盆踊りより1時間早く模擬店の販売がスタート。駅の高架下をお借りして、協力団体の皆さんが準備してくれました。



北沢法人会の綿あめには長蛇の列ができました



焼き鳥と税金クイズもやっています



日本赤十字船橋分団
お子さんが喜ぶ水ヨーヨー釣り



民生児童委員のソースせんべい、ルーレットで運試し



船橋体操の会
フランクフルトの店



冷たいチューペットはいかが?
社会福祉協議会



睦会は大人気のかき氷



ちとふな商店街の焼きそば



船橋会の光るおもちゃの店



船橋希望中おやじの会と
千歳台小デバンデス



盆踊り当日はたくさんの中学生在お手伝いに来てくれました。こどもぶんか村ボランティアクラブの皆さんです。小学生の対応や模擬店の販売のお手伝い、太鼓の体験など。

20時半、盆踊りの終わりが伝えられると一斉に会場の片付けが始まりました。役員や模擬店出店団体のほか、船橋希望中おやじの会、千歳台小デバンデス、船小オヤジの会や船橋希望中PTAの保護者の方など遅くまで作業くださいました。

翌日も船橋小PTAの保護者の方が集まり、他の協力団体の方と一緒に清掃活動に取り組んでくれました。



櫓や提灯の準備や
前日の清掃活動

たくさんの方の善意により「ちとふな盆踊り」は開催することができます。来年も再来年も長く続けていくためには、皆さんの力が必要です。今後ともぜひ、ご協力をお願いします。

ご協力団体の皆さん
参加の皆さま
ありがとうございました



盆踊り終了からすぐに撤収
翌日清掃も行い、駅前広場は元通り

船橋小学校避難所体験訓練開催

避難所は震災などで自宅が壊れた場合、自宅に留まることが難しい人が避難し、一定期間生活する場所です。その運営は町会などが主体となり行いますが、避難してきた住民が協力して運営行動を進めなければ秩序ある避難所が保てません。そこで船橋会では一人でも多くの方に避難所運営を体験していただき、自分で考え行動することの大切さを知ってもらいたいと考え、一昨年度から広く参加を呼びかけ訓練を実施しております。

今年度も7月1日(土)10~12時に開催した訓練には、船橋会役員、女性部、日赤、民生、船小PTA、船小オヤジの会、船橋希望中PTAなど各団体と一般参加者、合わせ約150名の方が参加しました。参加者には受付で決められたA・B2コースを6つのグループに分かれて複数の訓練を回ってもらいました。



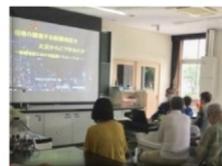
Aコースは三角巾の使い方や避難生活で起こりやすいエコノミー症候群について有隣病院のスタッフの方からお話を伺ったり、発電機・バーナー操作や炊き出し訓練を船小オヤジの会の方と一緒に学んだりしました。また、防災倉庫に入り、物品・資器材を確認、非常食は1600食、約500人分しか常備していないことに驚く参加者もいらっしゃいました。

Bコースは避難所の設営や仮設トイレの組み立てを体育館で行いました。体育館の床は固くそのままでは休めない方もいるため、船橋会ではロール状のシートを用意しています。事前に区画がわかるよう表示を役員と船橋小PTAの保護者の方が準備してくれました。訓練当日は参加者とともに仕切りを立てたり、仮設トイレの組み立てや解体を行ったり、仮設トイレを設置するマンホールを確認しました。また小学校内施設見学では、避難所を開設した場合も教育施設として速やかに再開できるように、「災害時立入禁止区域」があることなどを参加者とともに確認しました。

別室では成城消防署千歳出張所の渡邊所長が住宅密集地を火災からどう守るかをテーマに「延焼シミュレーション」のスライドを上映しながらお話しくださいました。船橋の地域で火災が起きたとき、どのように火が広がっていくか、自宅はどうなるか、皆さん真剣なまなざしでスライドを見つめながらお話を伺いました。

訓練を終えた参加者からは「初めて参加したが、とてもためになった。でも参加者が少ないのがとても残念だ。」との感想がありました。毎年課題となる町民への訓練参加の呼び掛け方。できるだけたくさんの方に参加いただくため、掲示板や回覧板を使って募集をしていますが、一番効果があるのは人の声だと思えます。ご近所で、ご友人同士で声を掛け合って訓練に参加してください。その行動が共助への第一歩と考えています。

世田谷区では区立小学校・中学校91箇所を避難所に指定しています。住まいによって避難所が決まっていますので、ご自身の避難所をご家族の皆さんで確認ください。



防災メモ～食品を無理なく保存する方法～

避難生活に備えて、ふだんから最低3日分の食料品は準備しておきたいものです。いつも新鮮な食品を無理なく準備する方法にローリング・ストック法(ランニング・ストック法)があります。この方法は、いつも買う2倍の量の米、水、レトルト食品、缶詰などを購入し、半分使ったら使った分と同じ量を購入するというものです。

世田谷区ホームページより抜粋

避難所名	住所	避難所運営主体 (町会・自治会別)	対象区域
船橋小学校	船橋 4-41-1	船橋会	船橋 1丁目全域、船橋 2丁目全域、船橋 3丁目全域、船橋 4丁目 23~27・31~43番
船橋希望中学校	船橋 20-1	希望ヶ丘団地自治会、 船橋 4丁目住宅自治会	船橋 6丁目 26番、船橋 7丁目全域、船橋 4丁目 1~22・28~30番